

○家族の絆・個人部門

最優秀賞

お兄ちゃんへ

何でもできるお兄ちゃんが大好き。

でもお兄ちゃんがいるから私は迷わず頑張れる、

ありがとう つかお兄ちゃんを超えてみせるよ

四日市市 中学1年生

大矢 伊織

○最優秀賞 選評

お兄ちゃんっていいよね。

みんなお兄ちゃんの真似をしながら、自分ができることや、できないことをわかっていくんだよね。

そしていつかは、お兄ちゃんを超えることもあるかもしれません。

でもね、そのうち、もっと大切なことに気がつくと思うよ。お兄ちゃんにしか出来ないこともあれば、自分にしか出来ないこともある。

そうしてまた大人になっていくんだよ。

審査委員長 村上 しいこ（童話作家）

家族の絆・個人部門

優秀賞

おばあちゃんへ

何かあったら、すぐに来てくれて助けてくれる。

そんなヒーローみたいなおばあちゃんが大好きです。

松阪市 小学6年生

横山 理央

おじいちゃんへ

耳がわるくても 僕の声を一生懸命聞こうとしてくれる。

何かこまったことがないか いつも気にかけてくれる

おじいちゃん ありがとう。

津市 中学3年生

大西 輝

家族の絆賞

ママへ

ママはすごい、がんが4レベルになって

じゅみようも5かげつだったのに

自分のことより人のことを気配りしてくれた

なのに1年も生きた。

やっぱりママはすごい。

だけど3月にママはしんでしまった。

バイバイママ

松阪市 小学3年生

佐藤 玖美

みえの子ども応援賞

お母さんへ

おっきな会場で 周りに声をかき消されても

必死に応えんしてくれる。

「勝ってほしい」っていう気持ちはちゃんと伝わってるよ。

桑名市 小学6年生

林 詩乃

入選

お母さんへ

おこられる度

お母さんを嫌いになって、

ほめられる度

お母さんを好きになって、

でも、どれだけおこられても

『大好き』の方が多いから。

津市 小学6年生

山田 真央

お父さんへ

4年間、

単身ふ任おつかれさまでした。

お父さんがいなくて

毎晩泣いていたけど

なみだの数だけ強くなれたよ。

松阪市 小学6年生

お母さんへ

けんかして、

「弁当は作らない」

というけれど、

机に置かれたそれは、

母が作ってくれた

私のお弁当。

菰野町 中学2年生

山本 実里

お母さんへ

朝、起きたら、

弁当が机の上に置いてある。

そんな日常に「ありがとう」。

本人の前では、言えない。

だから、昼食の時間に

ふたをあけて

「ありがとう」

菰野町 中学2年生

石田 恵

入選

お父さんへ

いつも泣き虫の自分に
厳しい言葉をかけてくれた
お父さん。

これからもお父さんの
たくましい背中を追いかけて、
成長していくね。

桑名市 小学5年生

窪 亮太

パパへ

パパやさしいね。
パパ

いつもぼくのやりたいことに
つきあってくれるね。

パパ

しょうぼうしよでの

いのちをまもるしごと
すごいね。

そんなパパみたいな
おとうさんになりたいです。

鈴鹿市 小学2年生

岸本 彩希

お母さんへ

くつのさいず、
ちいさいことにきづいてくれて
ありがとう。

鈴鹿市 小学2年生

川北 小梅

妹へ

すごくなまいき。
だけど、そこがかわいい。
いつもけんかするけど、
その分だけ仲良くなれる。
いつもお姉ちゃんに
付き合ってくれて
ありがとう。

津市 小学6年生

富永 紗生

入選

お父さんへ

いつも、家族のために
がんばってくれてありがとう。
たまにぐうたらしてるけど
がんばってくれている
お父さんは、
ぼくの、ヒーローだよ

津市 小学5年生

前田 蒼空

おかあさんへ

なんでもなおせる ママの手
いつもありがとう

鳥羽市 小学2年生

植村 歩乃果

お母さんへ

お母さん
熱をだした時
りんごの皮をむいてくれて
ありがとう
ぼくもりんごの皮
むけるようになったよ。

御浜町 小学5年生

松本 空翼

お母さんへ

冬の割れた指
見てると胸が痛くなるよ
「ありがとう」
どれだけ繰り返していても
繰り返しているのは
心の中。

菰野町 中学2年生

黒田 美佑

入選

お母さんへ

部活の時に服をきがえるたび
いいにおいがする。

そのたびに ぼくは感謝の心で
いっぱいになる。

「いつもありがとう。」

津市 中学1年生

加藤 遼真

おかあさんへ

お母さんが

「私の夢は

あんたが夢に向かって

がんばっている姿を見ること」

と言ったとき

自分の夢が

「お母さんの夢を

かなえさせる」に変わった。

松阪市 中学1年生

北岡 美海

家族へ

おとうさん

トイレ介助ありがとう

おかあさん

ご飯作ってくれてありがとう

お兄ちゃん

かまってくれてありがとう

おねえちゃん

アニメの話、楽しいよ

中学3年生

息子へ

時計屋を継いでくれて

ありがとう。

サラリーマンを辞めて

修理の修業をして

約10年…

沢山の時計たちが

命を復活しました。

そして、これからも。

松阪市 64歳

中野 潮美

おにいちゃんへ

じてん車のれんしゅうを
教えてくれて、ありがとう。
おかげでたちこぎが
できるようになったよ。
もっと上手になれるよう
教えてね。

桑名市 小学2年生

阪口 結菜

ママへ

ママ、
誰にも分かってもらえなかった
不安な気持ち、
分かってくれた。
「ありがとう」なんて
言葉じゃ表しきれないくらい、
感謝してる。

桑名市 小学6年生

保井 ひなた

お父さんへ

お父さんは、
とてもかたをこっついて、
かたをもんだら
めっちゃ固いほど
がんばっている。

桑名市 小学5年生

長谷川 央

お父さんへ

出かけるときはいつも無口。
旅行も、
お出かけも、
行き先を教えてください。
でも行きたいところに
連れていってくれる。
いつもいえない
「ありがとう」

桑名市 小学6年生

永田 優奈

佳作

お母さんへ

いつも夕食を作ってくれて
ありがとう。
つかれている時もがんばって
作ってくれてるけど、
また作り方を覚えて、
代わりに作ってあげれるように
がんばるね

津市 小学6年生

茨木 唯花

お父さんへ

いつも帰りがおそくなっても
つかれた顔をみせない
お父さんが大好きです。
これからも家事で出来ることが
あったら言ってみてね。
手伝うから。

津市 小学6年生

米倉 寛将

ママへ

心がくるしい時
いっしょにねてくれる…。
ふとんの中でうれしなみだが。
楽しい時
長い話につきあってくれる…。
えがおになれる。
ありがとう

松阪市 小学4年生

北村 光琉

お母さんへ

いつも「努力しなさい」って
しつこいぐらい言うよね。
でも、そのおかげで、
見て、やったよ。
100点とれたよ。

松阪市 小学5年生

今井 伊乙

佳作

お母さんへ

お母さん

いつも休日

買い物いってるけど

買ってくるのは、

わたしのくつや

おようふくばかり。

ありがとう。

御浜町

小学5年生

崎本 菜月

お母さんへ

「がんばってるね」

お母さんの方が

がんばってるよ

ありがとう

四日市市

中学3年生

田中 志奈

妹へ

いつもうるさい。

だけどその声が

聞こえなかったら、

心に穴が開いたような

気がする。

心の中では

「そばにいてくれて

ありがとう」

四日市市

中学2年生

田中 美緒

姉へ

私が楽しい時、

落ちこんでいる時、

どんな時でもそばにいて、

私の気持ちに

誰よりも寄りそってくれて

ありがとう。

四日市市

中学2年生

近藤 由依

佳作

お母さんへ

雨の日の、

練習おわりのユニホーム

きたないけれど

次の日には真っ白だ

手あらい ほんとに

ありがとう

四日市市 中学1年生

石川 瑛翔

お母さんへ

毎日私が

楽しみにしていること、

それは、学校であった話を

お母さんに話すことだよ。

いつも聞いてくれて

ありがとう。

菰野町 中学2年生

寺田 結美

お兄ちゃんへ

くだらない豆知識を

教えてくれてありがとう。

そのおかげで

国語の点数が上がったよ。

菰野町 中学2年生

荒木 愛華

お母さんへ

今日は、家に帰って

何を話そうかな。

いつも、笑顔で

話を聞いてくれてありがとう。

菰野町 中学1年生

柳世 美里

佳作

お母さんへ

「今日は、どうだった？」

と毎日聞いてくれる お母さん

「別に」

と面倒そうに

答えてしまう日があっても

必ず次の日も聞いてくれる、

「ありがとう」

おばあちゃんへ

「頑張れ」「よく頑張ったね」

その言葉だけで

また一つ

強くなれる気がします。

ありがとう。

松阪市 中学3年生

樋口 愛

津市 中学3年生

樋口 李彩

母さんへ

辛いこと、悲しいことがあつて

部屋で落ち込んでいる時に

きこえてくる

「ごはんできたよ」

その声に何度も

助けられました。

伊勢市 中学3年生

小田 亮太

母へ

いつも外食に行きたがるけど、

母の味は「世界一」です！！

志摩市 高校2年生

日比 巧

佳作

お母さんへ

父がいない。

そんなこと気にならないくらい

3人きょうだい全員に

たくさんのお愛をくれて

ありがとう。

松阪市 高校1年生

西村 彩聖

お母さんへ

昔はわからなかったけど、

今では家事の大変さが

分かります。

離れてから

あなたの大切さ、偉大さを

知ることができました。

ありがとう。

松阪市 高校1年生

伊藤 里桜

子へ

ただいまの笑顔と

カラのお弁当箱。

今日を元気に

すごせたことに感謝。

あなたの笑顔に感謝。

あなたの笑顔は

私の元気の源だから

菰野町 52歳

お母さんへ

ママが怒ってるのは

私のせい？

ママが笑ってるのは

私のおかげ！

いそがしいけど楽しいね。

津市 小学4年生

岩名 憂樹

佳作

てんごくのおばあちゃんへ
ぼくのお母さんを
うんでくれて ありがとう。
おばあちゃんのおかげで
ぼくもうまれてこられました。
ぼくにいのちをくれて
ありがとう。

玉城町 小学2年生

沓掛 暖叶

○家族の絆・ペア部門

最優秀賞

おとうさんへ

いつもおしごとおつかれさま。

わたしもしょうらい

おとうさんみたいなけいさつかんになりたいです。

おとうさんだいすきだよ。

松阪市 小学2年生

北口 明香里

あかりへ

けいさつかんはひとをまもるしごとです。

あかりもこまっっているともだちのそばに

いてあげられるようなひとになれるよう

がんばってください。

松阪市 40歳

北口 元

○最優秀賞 選評

子どもは親の背中を見て育つという言葉がありますが、あかりちゃんとお父さんはまさにそのものです。

なにより誰かを尊敬するというのは、人に言われてできることではありません。自分がそういう人と、出会わなければなりません。

その相手がお父さんで、あかりちゃんのお父さんだなんて！ お父さんだけでなく、私も読ませてもらって、背すじが伸びる思いでした。

審査委員長 村上 しいこ（童話作家）

優秀賞

おかあさんへ

ほちようきを 高いお金でかってくれてありがとう

ほちようきだいじにするよ。

おかあさんのところにうまれてきてうれしいよ！

伊勢市 小学3年生

北島 椿小

つばさへ

生まれてきてくれてありがとう

お母さんは 耳の悪いあなたのお母さんになりたかったの。

毎日嬉しいよ 毎日ありがとう。

伊勢市 36歳

北島 芙由紀

家族の絆賞

おじいちゃん、おばあちゃんへ

おじいちゃんが おばあちゃんをえらんでくれて、よかった。

おばあちゃんが おじいちゃんをえらんでくれて、よかった。

だって、今のりあがいるから。

伊勢市 小学2年生

河村 梨亜

りあへ

想いがあふれているりあが大好きよ。

いつもやさしくしてくれるからうれしい、ありがとう。

南伊勢町 67歳

河村 康道

南伊勢町 63歳

河村 安香

みえの子ども応援賞

弟へ

いっしよに生まれてきてくれてありがとう。

君が生まれてきてから ふたごになった。

これからもいろいろあるけど いっしよにがんばろうね。

桑名市 小学6年生

田原 諒

兄へ

ぼくがこまっているとき たすけてくれてありがとう。

これからも二人で力をあわせてがんばっていきましょうね。

桑名市 小学6年生

田原 潤

お母さんへ

夜遅く 疲れて帰ってくるだろう。

少しでも力になればらと、洗たく物を 干してみる。

菰野町 中学2年生

堀内 理名

娘へ

夜遅く 疲れて帰ると いい香り。

洗濯してくれたんやね、ありがとう。

菰野町 49歳

堀内 奈緒美

ママへ

いつも、わたしを大切にしてくれてありがとう。

おいしいごはんを作ってくれてありがとう。

桑名市 小学3年生

丹羽 美琴

みこちゃんへ

みこちゃんが寝た後に

こっそりしてくれたお手伝いに気付く時、

とても幸せな気持ちになるよ。

優しく育ってくれてとてもうれしいよ。

みこちゃん いつもありがとう。

桑名市

丹羽 英子

お母さんへ

いつも「めんどくさい」「でーめん

」心の中ではありがとうだよ」

津市 中学1年生

息子へ

朝、学校に行く前の

「行ってくるわ。」

無口なあなただけど、

声かけてくれて嬉しいよ。

津市 40歳

○地域の絆・個人部門

最優秀賞

地域の方へ

「あんたの子供は地域の宝」

そう言っただ下さる皆さんのお陰で、

私は安心して、この地で子育てしていけます。

地域の皆さん、ありがとうございます。

松阪市 39歳

中川 恵利子

○最優秀賞 選評

人が育つ基本にあるのは、安心と安全だと思います。だけどそれは、個人の力ではどうにもならないものだど、とくに近頃の社会の様子を見ると、考えずにはいられません。

そんなとき、毎日の言葉かけや、あいさつ、そして笑顔。それだけでも、ずいぶんと心が安らぎます。子どもは地域の宝、そして子どもは、県の宝でもあると、そんな県に三重県はこれからも成長していくと思いますよ。

審査委員長 村上 しいこ（童話作家）

優秀賞

おばちゃんへ

私が鍵を忘れて 家へ入れないとき、

おばちゃんが「うちへおいで」と言ってくれる。

安心できる第二の家です。ありがとうございます。

菰野町 中学3年生

坂 朋香

地域の人たちへ

困った時には、いつでもかけつけてくれる地域の方々、

次は僕たち若者が 困った時に助けてあげる。

次は僕たちが 活躍する出番だ。

伊勢市 高校2年生

深谷 侑輝

地域ふれあい賞

仲の良い友人へ

授業に出ることが難しくなった私を、

遊びにさそって外に出してくれてありがとう。

私のことを気にかけてくれてありがとう。

出会ってくれてありがとう。

津市 中学2年生

簗 七海

みえの子ども応援賞

まおちゃんへ

なにかいやな事があつたら、いっしょに考えよう。

この言葉が一生の支えになった。

いつもありがとう。

松阪市 小学4年生

渡邊 由芽

入選

まりこ先生へ

自分が1番

不幸に思えるものよ

私もそうだったからと

その言葉に救われた

私の変化にすぐ気付いて

欲しい言葉をくれる

先生ありがとうございます

助けてくれてありがとうございます

四日市市 中学3年生

田中 理藍

旗当番のおじいさんへ

毎日みんなに、

笑顔であいさつしてくれる、

おじいさん、

毎日朝から気持ちがいいです。

ありがとうございます。

桑名市 小学5年生

松澤 絆

地域へ

いつも登校しているとき、

「おはよう」「がんばってね」

と言ってくれる。

ぼくは、それを聞くと

いつもこう思う。

よし、今日もがんばるぞ！

津市 小学6年生

庄山 幸村

みんなへ

私が、算数の説明の途中で、

何も言えなくて、

とまってしまった時、

泣いてしまった時。

みんなが応えんしてくれました。

私は強くなろうと決めました。

みていて下さい。

松阪市 小学6年生

山口 葉奈

入選

地域の方へ

私の朝は、地域の方の

「おはよう。」で始まる。

どんなにねむくたって大丈夫。

「おはよう。」が元気をくれる。

いつもありがとうございます。

松阪市 小学6年生

酒徳 ひなた

友達へ

いつも、こまっていたら

助けてくれてありがとう。

だからあなたも

一人でなやまないで。

わたしも いつも

あなたの味方だから。

松阪市 小学5年生

三浦 由羽

近所の人へ

いつも学校からかえる道で

「おかえり」って言うってくれる。

そこに居場所をかんじます。

ありがとうございます。

菰野町 中学3年生

佐々木 美紀

チームメイトへ

1人では上手に

なっていないかった

いつも認め競い合い、

2人で上手になっていったな。

お前がいたおかげで

野球が上手に、

大好きになれたわ。

ありがとうございます。

伊勢市 中学3年生

山村 蘭馬

入選

地域の人へ

いつもいつも

私は自転車であつとぼして

そのままあいさつするけど

返されたあいさつは

ちゃんと聞こえてます

ありがとう

鳥羽市 中学2年生

松本 奏海

佳作

友達へ

絶対にお前を見捨てない。
友達だろ。
その言葉でぼくは、救われた。
ありがとう。

松阪市 小学6年生

田中 香太

友だちへ

みんなの
「がんばれ」の応援が
元気をくれます。
これからは、
自分で自分を応援して
がんばっていきそうです。
みんな、ありがとう。

松阪市 小学6年生

川西 茉那

りよう君へ

いつも遊んで、
いつもけんかする。
だから、いい。

松阪市 小学6年生

井坂 航規

友達へ

「いっしょうしんゆう」
という言葉 うれしかった。
ありがとう。

松阪市 小学4年生

松山 鈴木

佳作

部活仲間へ

友達が 次々と
部活を辞めていくなか、
一緒に残ってくれて

ありがとう。

あなたたちの支えのおかげで
キャプテンになることが
できました。

四日市市 中学2年生

橋本 尚弥

立尾先生へ

週に1回しか会えない中で、
たくさんのお言葉と気持ちを

ありがとう。

先生は私の道しるべ

いつか、先生みたいに
なってみせます

四日市市 中学3年生

萱苗 彩依

友達へ

試合で負けて

泣いてしまうと

なぐさめてくれる

その優しさに

また涙がこぼれる。

四日市市 中学1年生

加戸 菜々海

友人へ

「意外としやべるんだ！

びっくりした。」

と君が言った。

いつもはあまりしやべらない

僕だけど、

気づいてくれて、ありがとう。

津市 中学2年生

佳作

東京の友達へ

いつもいて

当たり前前だと思っていたけど、

別かれて気付いた

友達の大事さ。

「いままで、ありがとう。」

伊勢市 中学3年生

恒見 洋輔

平山秀（部活仲間）へ

お前に勝つために努力した、

今の自分が強くなれたのも

お前のおかげかな。

高校では

本当の敵ってことでよろしく。

伊勢市 中学3年生

嶋岡 諒真

○地域の絆・ペア部門

最優秀賞

ひろぴーへ

いつも、朝練につきあってくれてありがとう。
そのおかげでうまくなったような気がしたよ。
もっと朝練して 全国大会に行つて優勝しようね

桑名市 小学3年生

森 優真

ゆうまくんへ

いつも、朝れんをしてくれてありがとう。
いっしょにサッカーせんしゅになろうね。

桑名市 小学3年生

伊藤 弘翔

○最優秀賞 選評

二人が一生懸命練習している姿が目には浮かびます。サッカーはチームプレーが大切だし、こうして一緒にする朝練は、個々のプレーはもちろんだけど、気持ちが伝わっていくという面でも大きいと思います。

パス一つ出すにしても、やはり信じ合う気持ちがあれば、より正確に出せるのではないでしょうか。

そして、どんどん大きな大会に出て下さい。頂上から見る景色は、きっと違うと思います。

審査委員長 村上 しいこ（童話作家）

優秀賞

みずきくんへ

ぼくがこけて、ちがでた時、

はしって先生をよびにいってくれてありがとうございます。

ずっとわすれないよ

松阪市 小学3年生

西園 季竜

きりゆうくんへ

ぼくがこけたとき

だいじょうぶと喋って来て ありがとうございます

ずっとわすれないよ

松阪市 小学3年生

村井 海輝

地域ふれあい賞

夢へ

小学校からずっと一緒にいてくれてありがとうございます。

私が困った時、話を聞いてくれて 気持ちが悪くなりました。

つらい時は、いつでも相談にのるからね。

これからもよろしく。

鳥羽市 中学2年生

前田 碧海

碧海へ

楽しい時も

うれしい時も

悲しい時も

悩んでいる時も、

小学1年生からとなりについてくれて すごく心強い、

いつもありがとう。

鳥羽市 中学2年生

山本 夢

みえの子ども応援賞

いとうななみさんへ

1年生のときに

こまやけん玉のやり方を教えてくれてありがとう

おかげでけん玉は 100回をこすことができました。

こまはどんなこまでも 回すことができました。

ありがとうございました。

桑名市 小学3年生

平松 法子

ひらまつのりこさんへ

1年生のときに、

六年生をおくる会のれんしゅうのとき

休み時間に、けん玉やこまをしてくれてありがとう

これからもよろしくね。

桑名市 小学3年生

伊藤 那波

入選

まこちゃんへ

いつも一緒にいてくれてありがとう。

まこちゃんが一番

素でおれる大切な親友だよ。

これからもよろしくね。

四日市市 中学3年生

小出 彩水

あやみちゃんへ

遠い所から転校してきた あやみちゃん。

最初は、上手く話せなかったけど、

今じゃうそのように、いつも一緒にいるし、素でいられる。

転校生があやみちゃんであって良かった。

心からありがとう!!

四日市市 中学3年生

渡部 眞子

蒼空へ

あのかきはありがとう。

そらくん あのかきはぼくが泣いていたとき

なぐさめてくれたね

本当にうれしかったよ。

松阪市 小学5年生

服部 耕太郎

耕太郎へ

いいよ

いつでも泣いているときはきみの味方だよ。

松阪市 小学5年生

竹内 蒼空

育児男子賞

お父さんへ

いつも僕の心の支えとなってくれて ありがとう。

優しく、厳しく、

そして、「いつでも相談してきなさい」と

悩んでいた時 言ってくれるお父さんが大好きです。

僕もそんな人になりたい。

津市 小学6年生

岡田 健斗

親父へ

ここらでは珍しい父子家庭、

不自由なく育ててくれて ありがとう。

だから、大人になったら恩返ししたいから

「もし俺が死んだら」なんて話はするなよな。

伊勢市 中学3年生

山本 大樹